

2023年9月20日

報道関係者各位

シンガポール経済開発庁

アジア太平洋にサプライチェーン拠点を持つビジネスリーダーの半数近くが 今後3年のうちに製造能力の拡大を計画

7万人規模のサプライチェーンマネジメント（SCM）専門家を誇るシンガポール、
新たな人材育成を開始

シンガポール経済開発庁（以下、EDB）は、本年7月、「SCM-Jobs Transformation Map Study」に関わる共同調査の結果を公開した。まず、コロナや地政学リスクなどの不確実性が高まっていることから、より俊敏で強靱な製造生産体制並びにサプライチェーン（以下、SC）の再構築、さらにはそこに関わる人材の職務や担当業務の再定義に、企業は大きな投資を行っていることが明らかになった。また、サプライチェーンマネジメント（以下、SCM）の新たな潮流である ① デジタル化、② 強靱化・俊敏化、③ グリーン化のニーズに対して、プランニング業務の改革・強化の必要性が高まっていることが、調査した有識者や企業担当者から指摘された。既に7万人規模のSCM専門家を誇るシンガポールは、いち早く新たな人材及びスキルの育成を開始することで、既にシンガポールに拠点を置くグローバル企業や今後アジア太平洋地域に進出を検討している外国企業のニーズに応えていく。

ASEANの成長に伴うハブ拠点の責務

近年、東南アジアは中間層を核に高い経済成長を遂げていることから、ボストン コンサルティング グループは、ASEANの製造業生産高が今後2030年まで、2020年の水準から毎年4,000億米ドルから6,000億米ドル増加すると推定している。ASEAN地域におけるシンガポールの立地の優位性に加え、このような試算から、グローバルなSCの拠点としてさらに多く、且つ複雑な役目を果たすことが求められることになる。




シンガポールは、[既に今後「空港と港湾の能力を大幅に化する」ことを表明しており](#)、この点について EDB のダミアン・チャン企画・政策担当副次官は、7月に開催された「SCM-Jobs Transformation Map Study」イベントにおいて、「世界との接続性を強化し、長年にわたる投資によってデジタルとデータのエコシステムを成長させてきたことにより、グローバル企業にとって信頼できるSCの拠点としての強固な基盤が築かれた。これにより、SCM能力を持つ地元企業に新たな門戸が開かれ、シンガポール以外の新興市場へのアクセスが容易になる」と述べている。

 ワールドクラスのロジスティクス シンガポールは世界銀行の物流パフォーマンス指標(LPI)と通関効率性で世界第1位	 高度な貿易インフラ シンガポールは2030年までに無人搬送車と海賊対策のためのスマートセンサーを備えた最大の港湾施設を整備	 グローバルな流通網 シンガポールは200の海運会社を通じて123カ国、600の港と結ばれており、世界のGDPの60%をカバー
---	--	---

新たな SCM の潮流が求める人材とは

本年7月に EDB が公開した「SCM-Jobs Transformation Map Study」は、人材開発省 (MOM) 及び同省傘下の就職支援機関 Workforce Singapore (WSG) や Skills Future Singapore (SSG) と共同で実施した調査である。27 の事業内容に携わる 180 社の実務担当者と 50 名の有識者への聞き取りを中心に分析した結果、① ビッグデータ活用やインダストリー4.0 などの「デジタル化」、② エンドツーエンド (E2E) のサプライチェーンの可視化をはじめとする「強靱化・俊敏化」、③ 調達や廃棄を含む全体のサステナビリティに配慮した「グリーン化」といった3つのニーズが急速に高まっていることが改めて強調された。

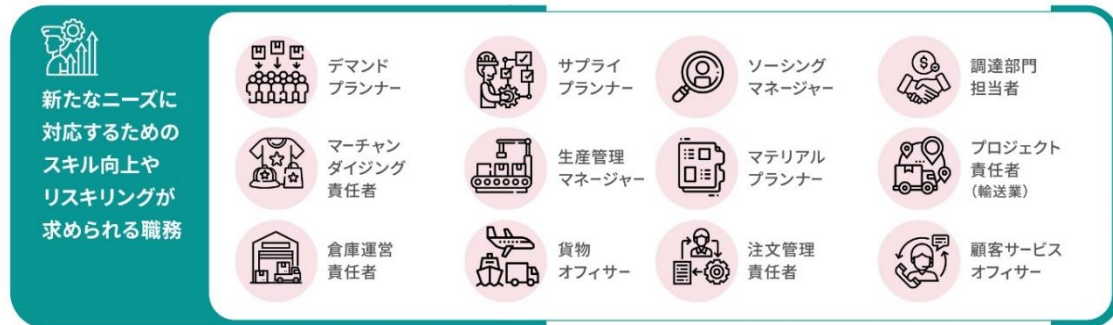
シンガポールには、現在7万人規模の SCM 専門家を抱えているが、2025 年までに、調査対象となった 38 種類の SCM の職務や担当業務のうち、およそ3分の1に相当する 12 の職務については、リスクリング(新たな職務に移行するスキルの習得)が必要になるとの見解が示された。

 デジタル化 デジタル化により反復的な手作業を自動化して生産性を向上させ、エンドツーエンド (E2E) のサプライチェーンの透明性を高める。 SCMの専門家は、高度なデジタル洞察力とより高いレベルの戦略的思考が期待されている。	 サプライチェーンの強靱化および俊敏化 より高い強靱化と俊敏化が求められており、調達の多様化、分散化、事業継続計画の強化に対するニーズが高まっている。 SCMの専門家は、より高度なリスクの予測と管理能力が期待されている。	 サプライチェーンのグリーン化 サプライチェーンマネジメント (SCM) にグリーン・プラクティスを組み込む重要性が高まるにつれ、倫理的な調達、持続可能な KPI、リバースロジスティクスの必要性が高まっている。 SCMの専門家はサステナビリティに配慮したフレームワークの開発、管理、実装を期待されている。
--	---	---

プランニング業務の改革・強化の重要性

また、近日公開予定の別の産業調査 (グローバルリサーチ & アドバイザリ企業ガートナーと共同で実施) の速報値によれば、アジア太平洋にサプライチェーン拠点を持つビジネスリーダーの 48% が今後 3 年間で東南アジアにおける製造能力の拡大を計画している。一方、回答者の 49% が人材のスキルアップと再教育の必要性を指摘していることが判っている*。今後のプランニングについては、7月の調査で示された 12 の職務と符合する結果となった。具体的には、地域レベルでの需給計画の最適化と寸断リスクの管理、また調達においても単一の供給元への依存低減や、持続可能で ESG に配慮したプランニングなどが求められている。

グローバル企業の進出により、シンガポールでは 2025 年までに、新たに 700 名の専門職、管理職、幹部職や技術職（PMET）の SCM の雇用が創出されるのだ。



*Gartner-EDB Survey on Trends in APAC Supply Chain Network

Gartner は、Gartner リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。Gartner リサーチの発行物は、Gartner リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。Gartner は、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の責任を負うものではありません。

いち早く新たな人材・スキル育成を開始

シンガポールでは、前述の ① デジタル化、② 強靭化・俊敏化、③ グリーン化といった新たなニーズに応える SCM 高度人材の需要の高まりに備えるため、以下のような新たな人材育成の取組を導入し、企業が地域の成長市場に対応するための SCM 能力を強化するための人材を提供する。

- i. 試験的サプライチェーン・マスタークラス
- ii. インダストリー・プラクティス・マスター (IPM)
- iii. ロジスティクスとサプライチェーン・マネジメントの大学院ディプロマ
- iv. デジタル・サプライチェーンにおける SkillsFuture キャリア移行プログラム (SCTP)
- v. ロジスティクス・サプライチェーンマネジメントのワークスタディ・ディプロマ
- vi. サプライチェーンとロジスティクスの専門家とコーディネーターのためのキャリア転換プログラム (CCP)
- vii. SCM スキルプラン ([ワンストップ・リファレンス・ガイドの開発](#))

各取組の内容や SCM 高度人材の現地雇用に関するご質問は、clientservices@edbv.gov.sg までお問い合わせください。



シンガポール経済開発庁 (EDB) とは

EDB は 1961 年に設立された貿易産業省傘下の政府機関で、シンガポールの産業育成、投資誘致を担っています。「外資系企業誘致のワンストップセンター」として、海外 20 カ所以上に事務所を持ち、外国企業に投資先としてのシンガポールの情報を提供するだけでなく、世界の経済、技術、市場動向を把握することで、シンガポールで競争力を持ちえる産業や分野を育成するための経済戦略を立案しています。日本には、東京に事務所を構え、日本企業のシンガポール投資をサポートしています。

最新のビジネスニュースについては、EDB のニュースルーム (<https://go.gov.sg/edb-jp-newsroom>) をご覧ください。

EDB のニュースレターの配信登録はこちらから：<https://go.gov.sg/edb-jp-newsletter>

<報道関係からの問合せ先>

エデルマン・ジャパン株式会社

佐藤、保里 (ほり)

TEL : 03-4520-1540

EMAIL : EDBJapanPR@edelman.com